

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> 適切なスペースが有る。 学習や課題を行う場所と、遊びの場所、庭と、しっかり確保されている。 人数に合わせて部屋を分ける等行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎日余裕を持った人員配置をしている。 適切である。 その日の職員数に応じて配置を話し合っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上完全バリアフリーは難しく可能な配慮のみ行なっている。 賃貸マンションのため完全バリアフリーではないが、できる範囲で配慮されている。 学習と遊びの部屋が分かれており、空間の構造化はできていると思う。一方でバリアフリー化はできていない。 児童の安全確保のため、又、見通しが良くなるように最低限の扉数にしている。段差も極力減らし、必要な場所に手すりを付けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎日清掃と消毒ができています。 清潔である。又、児童が心地よく過ごせるよう配慮されている。毎日の床、机、玩具の消毒や、換気を行っている。 段差を極力減らして、広い空間にしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 全職員で共有できる体制となっている。 日々の情報共有を行い、一人一人が意見を出し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 必ず行なっている。 施設長、児発管を中心に、その都度情報共有を行い、改善に努めるよう話し合いができています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 公開している。 ホームページで公開している。 毎年行っている。 HPで公開し、いつでも確認できる状態である。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価委員は設置していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 研修の機会が多い。 オンライン研修など受けている。 確保するよう努めている。 可能な限り全職員が研修の機会を得ている。又、研修後は報告書を作成し、全職員で共有している。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 児発管以外の意見も取り入れている。 児発管が作成し、情報共有している。 児発管を中心に、職員間で話し合って作成している。 	

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・使用している。 ・使用し、小さな変化もその都度、職員間で共有している。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り適切に対応している。 ・児発管を中心にできている。 ・利用者の特性に合わせて支援している。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・行なうよう意識している。 ・行われている。保護者の望みや児童の強みを活かした支援がなされている。 ・職員間で共有して行っている。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・課題や活動をチームで考え、行えている。 ・児発管を中心に、話し合って決めている。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・工夫している。 ・各職員が利用者の特性を理解して行っている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各自に沿った対応をしている。 ・児童発達のお子さんは利用時間が短く、その間に他のお子さんが来所していない時もあり、毎回集団活動は行えていない。 ・児発管を中心に、利用者の特性や課題、保護者の意向を取り入れて作成している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度共有している。 ・毎日必ず打ち合わせは行っていない。 ・休みの職員も情報共有できるツールを使用している。 ・その日の利用者数に応じて確認を行っている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE等を活用し休みの職員でも共有できている。 ・気付いた点を話し合っている。 ・デジタルツールを使用し、情報共有を行っている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・徹底できている。 ・記録を全職員が確認でき、その都度共有できている。 ・ツールで記録を残して、職員間で共有している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・している。 ・できている。 ・ツールで記録し、全職員が確認できるようにしている。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず参加している。 ・できている。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には行政との連携もしている。 ・有事には連絡を取っているが、積極的にには連携していない。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り情報共有している。 ・そのようなお子さんがいない。 ・医療的ケアの必要な児童はいないが、緊急時対応の備えはしている。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	5	・該当児童がいないが必要時には体制を取ることが出来る。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・担当者会の時に行なっている。 ・可能な限り行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・必要時には行なっている。 ・可能な限り行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	・相談支援事業所と連携している。 ・児童発達支援センターとの連携は行っていない。 ・全職員が順番に研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	・地域のイベントや催し参加の機会がある。 ・機会は少ないが、イベント等で交流できている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	・連絡会にのみ参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・利用毎に情報共有している。 ・あったことを伝えている。 ・利用毎に情報共有できる家庭が多く、保護者のニーズに合わせ、その時に行った課題や支援への共通理解を深めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	2	・必要時には行なう体制を取っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・契約時に説明している。 ・見える所に貼っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		・必ず同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・必要時には行なっている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・父母の会はないが、保護者参加のイベント企画は行なっている。 ・保護者参加型のイベントを定期的に行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・時間外でも可能な対応はしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・毎月発行している。 ・HP、手紙で発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		・注意している。 ・十分注意している。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	・お知らせは行なっている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・様々な視点からの訓練を心がけている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・行なっている。 ・定期的に行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		・契約時だけでなく利用毎に確認できるシステムを導入している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		・必要時にはしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・必要時には必ずしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・毎月行なっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・該当者には必要な対応をしている。 ・職員会で話し合っている。